

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0911
東京都 八王子市打越町 334-2-5-201
花輪 宗命 TEL : 090-2213-0257
Fax:042-636-6157
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2022年 12月

The Service Club of The YMCA

第330号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	花輪 宗命	国際会長	Samuel Chacko (india)
副会長	茂木 稔	主題	「フェローシップとインパクトで次の100年へ」
書記	久保田 貞視	スローガン	「自己を越えて、変化を起こそう」
会計	長谷川 あや子	アジア太平洋地域会長	Chen Ming Chen 主題:「新しい時代とともに エレガントに変化を」
直前会長	山本 英次	スローガン	「今すぐ実行を」
担当主事	菅野 牧夫	東日本区理事	佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
プリテン	山本 英次 茂木 稔 大久保 重子	スローガン	「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
		あずさ部部长	後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」
		八王子ワイズ会長	花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

12月クリスマス例会プログラム

(担当:A班 菅野、小口、佐藤、長谷川)

日時:12月17日(土) 17:00~20:00

会場:八王子大学セミナーハウス

会費:メン:2,000円 メネット・ゲスト:3,000円

第一部 クリスマス例会

(17:00~18:00 交友館セミナー室B)

司会:佐藤信也 奏楽:永町匡世さん

開会点鐘 会長 花輪宗命

前奏

讃美歌 536番 一同

聖書 佐藤信也

奨励 「出会いと絆を生む不思議」 並木信一

祈祷 並木信一

讃美歌 103番 一同

後奏・黙祷

東京YMCA報告 担当主事 菅野牧夫

・報告・連絡事項 会長・各委員

・閉会点鐘 会長 花輪宗命

第二部 懇親の夕べ

(18:00~19:45 本館多目的ホール (旧食堂))

司会:菅野牧夫 演奏:永町匡世さん

第二部続き

開会挨拶 会長 花輪宗命

ゲスト紹介 会長 花輪宗命

乾杯 次期会長 並木 真

会食(お弁当)

♪ ピアノ・ミニコンサート 永町匡世さん

ハッピーバースデー (メンバー該当者なし)

スマイル (多摩いのちの電話のために)

閉会

記念撮影

祝 八王子次期会長:並木 真 さん

先月の例会ポイント (11月)

在籍	12名	切手(小口、酢屋、津田)	0g
		海外0g	計1544.8g
メン	12名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	100%	スマイル	9,700円
メネット	1名	累計	40,950円
ゲスト	0名	オークション	0円
ビジター	2名	累計	0円
ひつじぐも	3名		

今月の聖句(2022年12月)

一つの体の中に多くの部分があっても、みな同じ働きをしているわけではありません。それと同じように、私たちも数が多いが、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに部分なのです。私たちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っています。預言の賜物を受けていれば、信仰に依じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に、教える人は教えに、勧める人は勧めに専念しなさい。分け与える人は惜しみなく分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。(新約聖書/ローマの信徒への手紙12:4~8)

巻 頭 言

エルマー・クロウ賞を受賞して

長谷川あや子

この度、国際表彰にてエルマー・クロウ賞という栄えある賞を頂きました。



10月26日に田中監事より第一報、28日にアジア太平洋地域会長 Charming Shenさんよりお祝いのメール、29日に大久保直前理事がワイズコムに国際表彰をお

知らせ下さいました。クラブメンバーは勿論、他クラブの沢山の方が祝福して下さいました。本当にありがとうございました。クラブの皆さんが陰になり日向になって応援して下さいました。2021-22年度あずさ部部長職についてから私は大船に乗った気持ちで大海に漕ぎだすことができました。部長を受けることになって最初にしたことは、入会以来のクラブのブリテンに目を通すことでした。1997年にあずさ部が発足、私はその年の12月にワイズに入会しましたが、東日本区、あずさ部、東京八王子クラブの草創期の息吹と情熱を膚で感じた日々でした。特に八王子クラブは設立3年目だったせいでしょうか、何をするのも一緒、どこに行くのも一緒という時代でした。あずさ部ブリテン共同企画として初代から10代の部長が毎月順番に原稿を寄せたこともありました。私は25代の部長ですが、私の前には24人の部長がいらっしゃる、その方たちの熱い思いを受け継がなければと、歴代の部長のお名前を見ながら決意を新たにしました。

私は部長としてごく当たり前のことをしてきたに過ぎませんが、連絡も報告も丁寧に伝えたいとはずっと思っていました。そのために、各クラブの書記の方たちとも連絡を取り合ってきました。

コロナ禍にあって直接お会いする機会が極端に減ったことは残念でしたが、Zoomやハイブリッドなど新しいすべを身に着けて、評議会も部大会もスムーズに開催することができました。むしろ毎月のようにあずさ部のクラブ例会にZoom参加することも出来ました。オンラインが大いに活用された年度でした。そして第3回の評議会を長野でのリアル開催に繋げることができたのは幸いでした。部大会の時の聖書朗読とお祈りは並木信一さんをお願いしました。「涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。種の袋を背負い泣きながら出ていった人は束ねた穂を背負い喜びの歌をうたいながら帰ってくる」詩編126編…エルマー・クロウ賞を受賞し、今その詩を改めてかみしめているところです。

特別寄稿

東京八王子クラブ11月例会に参加して

次期アジア太平洋地域会長／国際議員 利根川恵子
去る11月12日(土)、東京八王子クラブの11月例会



にオンラインで参加させていただきました。この例会では、9/4～9/8まで、タイのチェンマイで開催された第18回国際ユースコンボケーション

2022(以下IYC)に、八王子クラブ推薦で参加した伊藤瑠南さんと峯尾心さんが報告をすることになっており、アジア太平洋地域会長の代わりに参加した私にもご案内をいただいたからです。今回のIYC参加者は、15カ国から74名、うち24名がアジア太平洋地域からで、日本から6名(東日本区5名、西日本区1名)、ネパール4名、フィリピン8名、タイ6名の内訳でした。

このIYCは、YMI設立100周年の記念の年に開催されたこと、YMIの国際大会あるいは地域大会とは別に単独で開催されたこと、コロナ禍のため、3年間の中断の後、初めての開催であることなど特別に意味のあるコンボケーションとなりました。

IYCが単独で開催された点については、長所・短所があります。今回はK.C.サミュエル国際会長、ジョース国際書記長、私(次期アジア太平洋地域会長)、ディノ国際YIA事業主任兼アジア太平洋地域ユース・ディベロップメント委員会委員長、ラチャン南東アジア区理事、ウィチャン元国際会長、チェンマイ・ラナ・ワイズメンズクラブメンバー、元国際書記長・西村隆夫さん等々、YMIの関係者が多数ユースとともに活動し、ワイズの存在を示すことができました。IYC、AYCはワイズメンズクラブが、ユースのエンパワーメントを目指している事業であることを、今まで以上に認識してもらえたと思います。一方で、国際会長の「ワイズメンズクラブとは何か?」という質問に沈黙してしまったユース一同を目の当たりにし、われわれとしても、ワイズについてのより詳細なオリエンテーションが必要であると自戒の念を持ちました。

例会での伊藤さん、峯尾さんの報告から、お二人が国際的な舞台上で多くを学んでこられたことがヒシヒシと伝わりました。国際協力活動に興味があり、中央大学の「ひつじぐも」に入会したものの、コロナ禍で活動がほとんどできず、このIYCが国際的な経験の始まりであるとのことで、IYCでの経験が今後の「ひつじぐも」の活動にも生かされることを期待いたします。そして一人が一つ

ユース・クラブを作るという、サミュエル国際会長の課題にも挑戦していただきたいと願っています。

八王子クラブのみなさまには、「ひつじくも」を中心としたユースの支援を継続していただき、他のクラブへのよい範例となるようご期待申し上げます。



アジア太平洋地域からの参加者と撮影

ご挨拶 IYC 参加を記念して

2022-2023 年度ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

ユース事業主任

衣笠輝夫氏

こんばんは。2022-2023 年度ワイズメンズクラブ東日本区のユース事業主任をさせていただいております衣笠輝夫(埼玉ワイズメンズクラブ)と申します。



東京八王子クラブ例会(高尾の森わくわくビレッジ)に

おいて、第18回インターナショナルユースコンボケーション(IYC タイ・チェンマイ)に参加された中大学Yの伊藤瑠南さん、峯尾心さんお二人の報告を大変楽しみにしておりました。

むしろ、私の方がたくさん楽しませていただいた思いがいたします。というのは、出発から現地滞在そして帰国時まで、お二人を含む日本から参加した6人の方々が LINE で写真を都度撮って送ってくれました。途中経過を写真で見ることができ、あたかも一緒にいるような臨場感で楽しむことができたということで感謝しております。

第18回IYCには東日本区から5名、西日本区から1名、合計6名が参加されました。その中で各都市 YMCA のユーススタッフが3名参加されたことは、都市YMCAと学Yのいい交流の場になったと思います。さらに国際やアジア太平洋地域のユースとの交流も写真からもわかりますが楽しそうで、とても良い経験になったと思います。この繋がりをこれからも大切にさせていただきたいと思います。

今日はお二人の報告、それから、中大学Yひつじくも委員

長の関口遼さんのお話もお聞きし、インタビューをしたいと思っています。このインタビュー収録内容は11月に行われます日本YMCA大会(11/25~27 東山荘)で放映される予定です。

今日の東京八王子クラブ例会に国際議員の利根川恵子さんもZoomで参加されていますが、往路タイのバンコクから、現地での活動そして帰国まで、ずっと伴走していただきました。英語に多少不安が残る中、ユース一同、安心して参加されたのではないかと思います。ありがとうございました。



IYC タイ派遣帰国報告 伊藤瑠南さん 峯尾 心さん

YMCA 大会で、ビデオメッセージを

小口多津子

11月25～27日、200人が集うとされる御殿場市東山



荘での第22回日本YMCA大会があり、その中でひつじぐも現委員長の関口 遼さんが、学生YMCAとワイズのつながりを話されます。2年に

一度、全国のYMCAが一堂に集まる大会です。当日のプログラムの中で、ビデオメッセージを送られることになりました。この大会には、ひつじぐもから1年生の田中さんが学Y代表で現地に出席されます。

関口さんのビデオ収録は、12日のクラブ第一例会(会場:高尾の森わくわくビレッジ)で行われました。

この例会はIYC(9月タイ・チェンマイ)参加者のひつじぐも代表、峯尾 心さん、伊藤瑠奈さんの報告会が主でしたので、その報告会後に続けて、お二人と共に関口さんの収録をしました。ユース事業主任衣笠輝夫ワイズ(埼玉クラブ)が、インタビュー質問を用意、カメラを回し、私がインタビューをしました。

この企画の元は、今回のYMCA大会の準備をされていた同盟、ブランディング推進協力部主任主事の有田征彦さんからの依頼でした。日本YMCA中期計画に掲げているパートナーシップのうち、「コラボレーションで地域が変わる」との課題に、ぴったりだったのが、ワイズメンズクラブと学生YMCAの繋がりである、東京八王子クラブと中大ひつじぐもとのパートナーシップでした。

つまり、我々のクラブと学Yのコラボレーションが目止まり、全国YMCAに紹介したいとの申し出が、衣笠さんを通じて、IYCのお二人へ話がきました。そして、ひつじぐも委員長へとつながりました。

インタビューとしては5分ほどのお話でしたが、その質問の中身は、

- ・中大学Yひつじぐもと東京八王子クラブでは、日常はどのような交流ですか。

関口君・・八王子クラブの毎月の例会には、必ずひつじぐもから誰かが参加しています。

しばらく続いたライン例会でも、いつも参加しました。また、5月の草刈・BBQなどの歓迎会もして頂いて、ひつじぐもで大勢の参加があります。

卒業生を送る追い出しコンパには、八王子クラブから大勢が来て頂いています。

- ・八王子クラブ推薦で、毎年IYC・AYCに何人も派遣されているけど、その経験による学生さんの成果、成長は？

関口君・・八王子クラブとのつながりは、20年の歴史があって、2002年に初めてAYCに参加させて頂き、大体2名位ですが、多いときは4名とかが派遣されて、

ひつじぐもは比較的多いと思います。

- ・今後の学Yひつじぐもが目指すものは？ 地域社会への影響は？

関口君・・我々は活動として、児童館への支援を続けていて、そしてワイズメンズクラブの皆さんとで、幅広い交流をしています。例えば、追い出しコンパのように一堂に皆で会う機会があると、そこに暖かい雰囲気が生まれます。そして我々はそんな時に、地域社会への接し方などを自然に学びます。ひつじぐもは、子供から大人とあらゆる所へ幅広く行ける活動が目指すところですが、これからは、海外への派遣を多くして、活動の幅を広げていきたいと思っています。

などでした。あらかじめ質問が用意されていたので、関口さんの受け答えは、とても場慣れた感じで明快でした。

これまで先輩たちの卒業後の活躍、就職してもユース事業のオープンフォーラム・Y等への積極的な参加の過去の先輩たちの姿をクラブはいつも応援していました。さらに今のひつじぐものメンバー自身が、社会性を認識した優秀な学生さん達だから、我々八王子クラブとの連携がうまく、続いているのだということを、私は改めて感じました。



インタビューに答える関口君、伊藤さん、峯尾さん

2023年度中央大学国際ボランティアサークル ひつじぐも幹部挨拶

委員長:大山希

ひつじぐもの次期委員長を務める、法学部法律学科2年の大山希です。

東京都出身で、中高6年間は卓球部に所属していました。趣味は漫画を読むことや野球観戦です！

来年もコロナ禍での活動と予想されますが、今までの活動を引き継ぎながら、より活発で楽しいサークルとなるよう精一杯務めていきたいと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

副委員長:渡部航也

次期副委員長と多摩の代表を務めます、経済学部2年の渡部航也(わたなべこうや)といいます！委員長の補佐と多摩を起点とした活動も増やしていきたいと思えます！秋田県出身です。特技は体を動かすことと人と話すことがとても好きです。趣味は読書とひとり暮らしをして

いるので料理が得意です。よろしくお願いします！

副委員長:森脇啓心

ひつじぐも次期副委員長を務めさせていただきます。経済学部経済学科2年の森脇啓心です。高校では山岳部に所属していました。本屋でバイトをしています。趣味は登山とプロレス観戦で特技はレジ打ちです。コロナ禍での活動に活路を見出してくれた関口さんたちの後を引き継ぎ、より新たな活動に勤しんでいけるよう頑張りますのでよろしくお願いします！

副委員長:鶴谷航希

ひつじぐもの次期副委員長を務めさせていただきます。商学部商業貿易学科2年の鶴谷航希です。出身は埼玉で趣味は筋トレとテニスです。徐々にコロナによる制限も緩くなってきているので、より活発に活動していきたいと思っております。よろしくお願いします。

白羊会・ひつじぐも卒業生会 合同クリスマス例会に参加して

久保田貞視

12月3日(土)13:00から市ヶ谷私学会館で開催された中央大学 YMCA 白羊会・ひつじぐも卒業生会合同クリスマス集會に出席したので概要報告いたします。

コロナ禍のため約3年ぶりの開催で、第一部白羊会総会、第二部クリスマス礼拝、第三部国際ボランティアサークルひつじぐも及び卒業生活動報告、第四部クリスマス例会と盛りだくさんの集會でした。白羊会総会では2021年11月から2022年10月までの活動報告があり、決議事項として白羊会会則改定、役員改選では新会長に米山敏裕氏、副会長に向井克彦氏と姉崎貞夫氏が承認されました。

クリスマス礼拝は、聖書のマタイによる福音書第2章9節—11節を引用され、ジェフリー・メンセンディーク牧師による奨励は「クリスマスに考える二つのV」として、幼子イエスと三人の博士の図について説明された。人間のValue(命の価値)とVulnerable(弱く、脆い、傷つきやすい)は人間の命は大切であり、人間は弱く、傷つきやすいので神を信仰すれば神は見捨てないと。

ひつじぐも卒業生の活動は鶴田麻子副会長より卒業生は100人いるがうち70名が参加しており、役員会・卒業生会の開催について。ひつじぐもの活動は関口委員長が主となり、ワイズとの関係、学生YMCAとの交流、夏期ゼミ、ごみ拾い等の諸活動の報告と新役員の紹介で新委員長には法学部2年生の大山希さんが発表されました。

第四部はクリスマス例会。司会は向井さんで、来賓として青木一芳先生、日本YMCA同盟の学生YMCA担当の金宣希氏と東京八王子ワイズメンズクラブの久保田が

挨拶。ワイズとしてはひつじぐもとの交流の歴史、例会、協働活動、ユースコンボケーションについて話し、ひつじぐもの学生より元気をもたらしていると伝えた。和やかな歓談の中で、白羊会・ひつじぐも卒業生・学生の出席者全員が自己紹介と一言挨拶されました。今回のクリスマス集會にはひつじぐもの学生は16名招待されたが、ひつじぐもOBは鶴田さん、青木さん、原部君の3人だけで寂しい感じでした。しかし、久しぶりの対面での集會でもあり全員が懐かしさと笑顔で別れました。



私学会館にて

わくわくビレッジ便り

高尾わくわくビレッジ 館長 菅野牧夫

11月13日(日)にわくわくフェスティバルが無事開催されました。通常のフェスティバルと比較すると少しお客様が少なかったように感じますが、何とか3年ぶりのフェスティバルが行えたことはうれしく思います。やっぱり人がにぎわっていて、笑顔や笑い声があふれているわくわくビレッジの方がいいですね。

わくわくビレッジの運営を任されてもうすぐ18年を迎えます。そして東京都との契約更新があと2年と近づいてきました。18年間の運営の中でお客様からのクレームを受けると、新しいルールを上乘せしてきたことで、お客様から見ると複雑で分かりにくい施設になってしまいました。また宿泊、施設予約管理をするパソコンも10年以上が経過しており、使いにくさが目立ってきました。

契約更新に向けてルールの簡素化や予約管理システムの一新を検討しています。その一環として、他の

(5 ページより続く)

施設の視察をはじめました。差し当たって江東区にある Bumb や新宿区のオリンピック青少年センターの視察が実施されました。他施設を視察することはとてもためになることでした。どちらの施設も予約の複雑化や新しい予約管理システムの導入など、同じ課題を抱えていることがわかりました。しかしながら予約管理の方法などはそれぞれ違いがあり、簡素化や利用者にとって分かりやすくなるためのヒントがたくさんあることがわかりました。この後も視察が続きます。いろいろな施設の良い部分を参考に、わかりやすく効率のいい予約管理の方法を構築していきます。そして使いやすい予約システムの導入も考えていきます。何はともあれ、同じような課題を持つ施設とネットワークが作れたことが大きな収穫でした。いざという時に、悩みを共有できる仲間ができました。



フェスティバルリーダーの皆さん



この写真の作成者不明

Y M C A 便り

担当主事 菅野 牧夫

- ◆ 10月28日、「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」第2弾が日本基督教団霊南坂教会で開催され、約90名が来場した。飯靖子氏（公益財団法人東京YMCA理事）と方波見愛氏によるオルガンとピアノの演奏の他、東京YMCAの支援により実施されている、ウクライナYMCA主催プログラムの報告がなされた。コンサート終演後にウクライナ支援の募金を呼びかけたところ、163,601円が寄せられた。
- ◆ 11月17日、「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」が、東京YWCA、在日本韓国YMCA、東京YMCAの共催で開催され、会場（在日本韓国YMCA）とオンライン参加者合わせて約75名が出席した。
- ◆ 11月20日、会員部主催の「ソシアス2022」がオンラインで開催され、会員、職員、学生他51名が参加した。川平朝清氏（元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授）より「沖縄復帰50年と平和について—ヤングマン&ヤングウーマンに期待すること—」と題して講演をいただき好評であった。
- ◆ 今後の主な行事日程
 - 「第22回日本YMCA大会」 11月25日～27日
会場：日本YMCA同盟東山荘、及びオンライン
 - 「山手センター70周年記念「OBOG・現役リーダー会」 11月27日 会場：山手センター
 - 「東陽町クリスマスオープンハウス」 12月11日
会場：東陽町センター
 - 「ウクライナYMCA支援活動報告会」 12月14日
オンライン
ウクライナYMCAによる、現地活動報告（日本語通訳あり）
 - 「第17回子育て講演会」 1月28日 オンライン
講師：大豆生田啓友氏（玉川大学教育学部教授）
テーマ：「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ～」

ひつじぐも便

「1年を振り返って」委員長関口遼、文学部3年

みなさんこんにちは。いつもお世話になっております。ひつじぐも委員長の関口遼です。11月いっぱいまで代替わりをするということで、みなさんがこれをお読みになっている頃には委員長は変わっているでしょう。今月は関口のひつじぐもの1年を振り返ろうと思います。

僕の代が始まってから我々は「再始動」という活動方針を掲げ活動を行いました。まずは新たに始めたゴミ拾い活動。最初は手探りでしたが、次第に盛んになり、YMCAのYouth Actionに選出していただきました。豪田よしお部主催のゴミ拾い甲子園では6月にチーム優勝、11月には2位入賞と結果を出すことができました。幸先良く始まり、実習所、児童館、新歓、部室掃除、学生YMCAの活動と着々と対面での活動再開を成し遂げることができ、8月に皆様とご一緒に食事をしたことでついに我々の目標は完遂されました。そこからさらに朗報が続き、タイ派遣という海外派遣まで再開することができました。正直今年中の海外派遣実施は難しいのではと思っていたため、あの時長谷川さんから連絡が来た時の衝撃は今でも覚えています。無事にタイ派遣も終わり、皆様への報告会も実現しました。私の代の後半では、白門祭でもゴミ拾いの活動を実施でき、我々のシンボルとなるビブスも制作しました。そしてYMCAのほうからひつじぐもと八王子ワイズメンズクラブの関係性についてもインタビューを受け、まわりからも評価されるひつじぐもになり得たのではないかと実感しています。

1年を振り返り、非常に感慨深いです。本当にあつというまででした。ここまでを見るといい面ばかりが見られるので素晴らしいかと思うかもしれませんが、もちろん反省点もあります。それらはしっかり引継ぎをした上で次の代での解決を期待しようと思います。この成果は関口のみならず、たくさんの人の情熱あつてのことです。本当にありがとうございました。次の代もどうぞよろしく願いいたします。本当に良い子たちばかりです！



今月の聖句に寄せて (2022年12月)

並木 信一

東京YMCAでは、原則的に毎月(合併号もありますが)、機関紙「東京YMCA」を発行し、会員やプログラム参加者を中心に配布しています。

直近の11月号の1面の見出しは「SDGsを自分ごと化する」。社会起業家の平原依文さんが、YMCAの職員研修でおこなった講演「パーパスから始まるSDGsの自分ごと化」の一部が掲載されています。

2015年に国連が全会一致で採択した、「世界を持続可能に変えるための17の目標(SDGs)」に一人一人がいかに関与するか。貧困、教育、健康、福祉、平和、気候変動、ジェンダー、エネルギーなど、世界を持続可能にしていくために必要な課題が包括的に掲げられています。しかし、私たちは、課題のそれぞれがみんな大切であるがゆえに、何から手をつけたらよいのか、立ちすくんでしまいます。

これに対して、平原さんは、「自分ごと化」を提唱、自分の周囲のきわめて身近な、また、切迫した問題、パーパスをもった取り組みからはじめること、また、義務感でなく、生き生きと、楽しく、しかも真剣に取り組むこと、すなわち、「自分ごと化」することを、具体的な例を紹介しつつ説明しています。

この記事を読んで、心に浮かんだのは、今月の聖句、キリストにあつてはみんな一つの体であり、一人一人は互いに部分という言葉です。一人一人がそれぞれの持てる異なった賜物を惜しみなく用いる、このことを「自分ごと化」して、よりよい生活を築くことに役立ちたいものと思います。

(報告)

2022年11月第一例会議事録

日時: 11月12日(土) 18:00~20:00

会場: 高尾わくわくビレッジ学習室C

・卓話: IYCに参加して得たもの—参加報告

9月4日~9日までタイのチェンマイで IYC が開催され、ひつじぐもより峯尾心さん、伊藤瑠南さんが参加。参加者総数 74 名、日本からは6名、東日本区から5名、西日本区から1名。

他国ではインド、アフリカ諸国、フィリピン、韓国が多かった。

卓話はパワーポイントで説明。環境問題がテーマだったが、IYC カルチャーナイト、現地 YMCA 訪問及び交流が中心の話が主となり、当時の仲間とは今でも付き合い合っている。

卓話後、花輪会長よりクラブからの支援金と、あずさ部からの補助金が両名に手交した。

・利根川国際議員: IYC 報告のコメントに続いて、来年の計画は、3月にワイズ 100 年記念大会が3月に台北であり、香港でのアジア・パシフィック大会は11月3~5日、AYCは8月にネパールのポカラで開催予定。

・YMCA 報告—高尾の森わくわくビレッジのチャリテランでの成績及びチーム内でのワイズ 2 名の成績の報告とわくわくフェスティバルの案内。

・中央大学 YMCA 白羊会・ひつじぐも卒業生会合同でのクリスマス例会(12月3日)招待への参加を勧めたが久保田のみ出席予定。

・出席者(敬称略)

メンバー: 花輪、山本、茂木、長谷川、小口、望月、大久保、並木信、並木真、佐藤、菅野、久保田メン・メネット(13人)

ビジター: 衣笠(埼玉)

ひつじぐも: 関口遼、峯尾心、伊藤瑠南

ZOOM: 利根川(川越)

(報告)

2022年11月第二例会議事録

日時: 10月26日(土曜日) (18:00~20:00)

会場: 北野事務所2階小会議室

出席者(敬称略)

A班: 長谷川、菅野、佐藤、小口

B班: 花輪、久保田、望月、並木真、

C班: 並木信、茂木

○報告・検討事項

(1) 12月クリスマス例会

・日時: 12月17日(土) 17:00~20:00

・会場: 大学セミナーハウス

・会費: メンバー2,000円、ひつじぐも 500円
メネット・ビジター・ゲスト 3,000円

・出席予定者(敬称略) 計24名

(メンバー) 菅野、小口、佐藤、長谷川、花輪、

並木真、望月、久保田メン・メネット、大久保、茂木、
並木信メン・メネット

(ゲスト) 永町匡世、酢屋善元、福田勝江

(ビジター) 田中博之、神谷メン・メネット

(ひつじぐも) 関口、森脇、吉田、児玉、折原

・変更ある場合は12月10日まで。

(2) 1月第一例会

・日時: 1月28日(土) 18:00~

・会場: 北野事務所2階大会議室

・卓話: 「協働のまちを目指して」市協働推進課

(3) 在京ワイズ新年会

・日程は1月7日(土)と決まっているが、詳細はまだ届いていない。

(4) 次期役員について

・次期クラブ会長は並木真さんが推薦され、全員同意した。

・2月の評議会の会長活動報告は花輪会長が作成し、部書記に送付する。

(5) 第3回東西日本区交流会について

クラブからは長谷川あや子さんが出席する。本人がHPから大会登録する。

(6) 1月中花輪会長不在中は久保田書記が代行する。

(7) 甲府21クラブより、山梨YMCAのウクライナ避難者へのチャリティーの「枯露柿」販売のこと。

12月の誕生日

該当者なし